

『つなぐデザイン』

ー地域と社会と企業をつなぐデザインの意味と事例性ー

武蔵野美術大学造形構想学部 若杉 浩一氏

近年、公共建築物等木材利用法を契機として、安全かつデザイン性に優れた大規模木造建築物の建設が進んでいます。また、店舗やオフィス環境の内装木質化も着実に進んでおり、都市部においても街中で木材を目にすることが多くなってきました。一方、山村部では伐期に達したスギ等人工林の伐採、再造林は進んでおらず、木材利用の機運が林業の現場を潤すまでには至っていません。地域における木材生産を活性化するためには、都市と地域、地域と企業との乖離をなくし、相互のつながりを深めることが必要です。



令和2年3月の月例研究会では、武蔵野美術大学造形構想学部教授の若杉浩一氏をお迎えします。若杉氏は、(株)内田洋行およびパワープレイス(株)において、プロダクトデザイナーとしてオフィス家具の計画、デザイン、システム設計を行う一方で、平成14年に日本全国スギダラケ倶楽部を立ち上げ、スギ材の利用を通じて地域と企業をつなぐネットワークづくりに取り組んでこられました。また、平成31年4月には武蔵野美術大学に新設されたクリエイティブイノベーション学科の教授として着任され、デザインの「新しい価値づくり」に精力的に取り組まれておられます。講演では、これまで若杉氏が取り組んできたさまざまな事例をご紹介いただくとともに、これらの経験を元に、デザインが人、地域、経済に対して持つ意味についてお話しいただきます。ご参加のみならず、「つなぐデザイン」をキーワードとして、地域と企業をつなぐ社会に活力を与える木材利用のあり方についてディスカッションさせて頂きたいと考えております。

～ 記 ～

□日 時： 令和2年3月19日(木) 17時30分～(受付開始は17時00分～)

□会 場： 東京大学農学部 フードサイエンス棟 中島ホール
場所の詳細は下記ホームページにてご確認ください。

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_07_14_j.html

□主 催： 木材利用システム研究会

□定 員： 80名(定員になり次第、締め切らせて戴きます)

□参 加 費： 会員は無料、非会員は3,000円

情報交換会は実費(3,000円)を戴きます。会場準備の都合上、申込期限日以降のキャンセルはご容赦戴けますよう、ご協力の程よろしくお願い致します。

□申込期限： 令和2年3月12日(木)

□申込方法： 当研究会ホームページ(<http://www.woodforum.jp>)からお申し込みください。

木材利用システム研究会事務局：
〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1、7号館B棟 439室
電話：03-5841-7506 FAX：03-5841-0915
メール：info@woodforum.jp